（国道7号）Ｒ４・５紫竹跨線橋補修工事　工事説明書

紫竹跨線橋　川田建設　検索

2023/10/20 7:37

工　事　名	Ｒ４・５紫竹跨線橋補修工事
発 注 者 名	国土交通省　北陸地方整備局　新潟国道事務所
受 注 者 名	川田建設株式会社
工　　期	令和５年４月１日～令和６年３月２７日

紫竹跨線橋補修工事の仕事を紹介しているHPへのQRコードです（1か月に1回更新しています）

事　業　の　概　要

【事業の全体概要】
国道7号・新潟バイパスの一部である紫竹跨線橋は、南北に走るＪＲ信越本線とＪＲ白新線および市道と交差し、東西の市街地を繋ぐ陸橋です。１９６４年に開通して以来６０年が経過し、最近は凍害や凍結防止剤による塩害、交通量の増大に伴う劣化や老朽化に対処するために様々な補修を行っています。

【Ｒ４・５紫竹跨線橋補修工事の概要】
下記に示す補修を川田建設（株）が担当しております。

【昼間工事】　①上り線P3支承部の補修と防錆　②上り線と下り線のP3橋脚・A2橋台のコンクリートひび割れ補修
③上り線と下り線の鋼桁部の塗装塗替え　④上り線床版下面の表面保護塗装

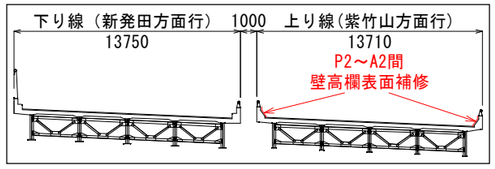
【夜間工事　※車線規制（3車線→1車線）】
⑤上り線のP2、P3の伸縮装置の取替　⑥上り線のP2～A2の床版コンクリートと壁高欄の補修
⑦上り線のP2～A2部分のアスファルト撤去・再舗装

工　事　内　容

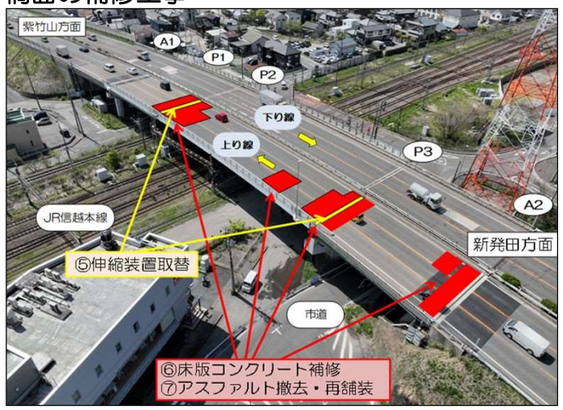
工事位置図

新潟駅から約2km　紫竹山ICから約1.5ｋｍ

断面図　（例：P3～A2部）



橋面の補修工事



上り線の橋面補修については約４ヶ月間、夜間交通規制（３車線→１車線）をしながら、下記の補修を行います。
⑤　P2、P3の伸縮装置の取替
⑥　P2～A2の床版コンクリートと壁高欄の補修
⑦　P2～A2部分のアスファルト撤去・防水工・再舗装

下側の補修工事

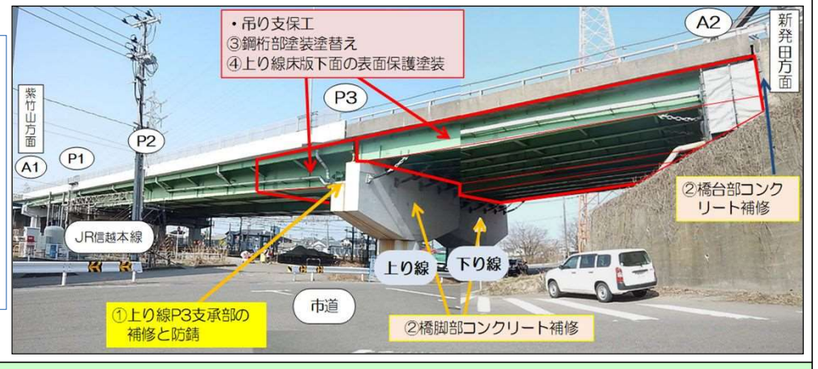
昼間は下記の補修を行います。

①上り線P3支承部の補修と防錆

②橋脚・橋台のコンリートひび割れ補修

③鋼桁部の塗装塗替え

④上り線床版下面の表面保護塗装



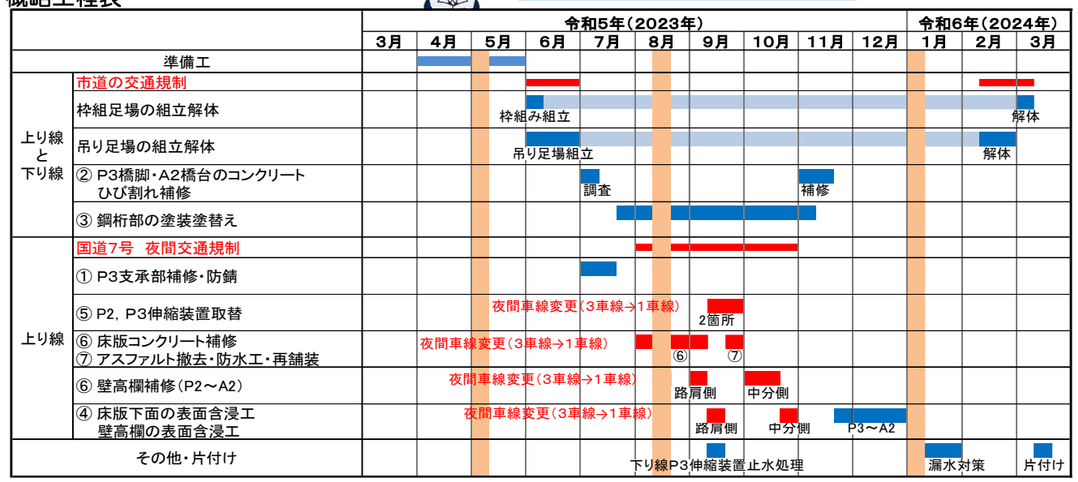
受　注　者

KAWADA CONSTRUCTION CO.,LTD.

川田建設株式会社　北陸支店（富山）　TEL：0763－22－4666　FAX：0763－22－6215
川田建設株式会社　新潟営業所　TEL：025－243－9305　FAX：025－243－2193

川田建設株式会社　Ｒ４・５紫竹跨線橋補修工事　作業事務所
TEL：025－278－7361　FAX：025－278－7362

● 概略工程表



● 工事写真

①上り線P3支承部の補修と防錆

補修前

補修後

②上り線と下り線のP3橋脚・A2橋台のコンクリートひび割れ補修

③上り線と下り線の鋼桁部の塗装塗替え

ブラストによる古い塗装剥がし作業

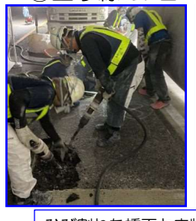
エアスプレーで幾層もの塗り重ね。塗装完了

④上り線床版下面の表面保護塗装

⑤上り線のP2、P3の伸縮装置の取替

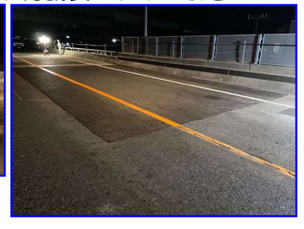
古い伸縮装置を撤去後に新しい伸縮装置を設置

⑥上り線のP2～A2の床版と壁高欄の補修



ひび割れた橋面と床版を掘削後に新たに超速硬コンクリート打設

⑦上り線のP2～A2部分のアスファルト舗装撤去・防水工　、　アスファルト再舗装・ライン引き



コンクリート仮舗装を撤去して床版を保護するための防水層を舗装下に塗布。アスファルト舗装を行い完了